

SAIKA ALLERGEN MAGAZINE

雑賀技術研究所

自主検査費用を70%削減！ LC-MS/MS法の活用方法 VOL.01 APRIL 2024

品質管理や商品開発など実務で分析に携わっている方に向けて
アレルギー分析にまつわる、様々なお役立ち情報をお届けします。
まず第1弾は、**自主検査にかかる費用を大幅に削減できる方法**を紹介します。

日本における食物アレルギー患者は増加傾向にあり
食品メーカーでは徹底した管理が求められています。
そのためには製品ロットごとに全ての特定原材料を確認することが望ましいですが
莫大な費用がかかってしまいます。

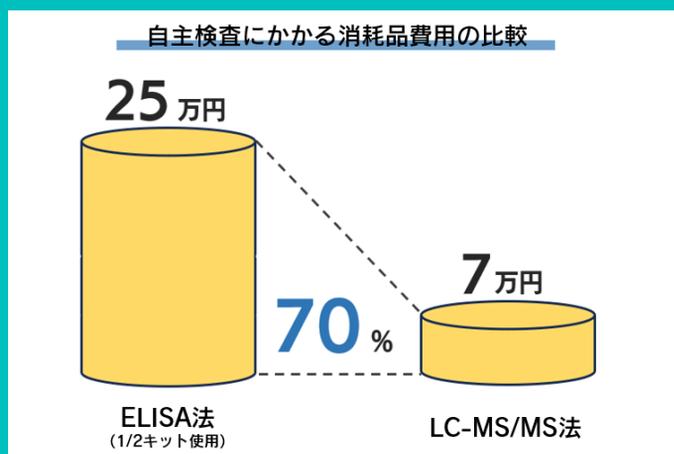
弊所が開発したアレルギー分析法（LC-MS/MS法）は1回の分析で複数のアレルギー
をまとめて確認できるという特長があります。
すでにお持ちのLC-MS/MSを活用することで自主検査費用を削減することが可能です。

実際に効果がどれぐらいあるか、検査で使用する消耗品についてELISA法と比較して
みました。

ELISA法ではキット代など
約25万円かかるのに対し、

LC-MS/MS法では
抽出試薬、標準品、精製用カラム代など
約7万円と
経費を70%抑えることができました。

※5検体、特定原材料7品目（くるみを除く）を
自主検査した場合
※えび、かには区別せず「甲殻類」として分析



▶ **製品などの詳細はこちら**

雑賀技術研究所

〒640-8341 和歌山市黒田二丁目1-20
TEL : 073-474-0860 (お問合せ先：研究開発室 富上・山下・稲垣)